新たな一歩を踏み出す年に

校長 岸田 薫

3月に129名の卒業生を見送った校庭の桜も、葉桜へと姿を変え、新しい芽吹きに初夏へ向かう生命の力強さを感じます。いよいよ、令和5年度のスタートです。

昨年度は、駒小創立50周年ということで、様々な形で、50年を振り返ったり祝ったりしてきました。今年は、半世紀を終え、新たな一歩を踏み出す年です。これまでと変わらず、「一人ひとりの子どもにとって」を最優先に考えながら、まちと一体となって子どもたちを育んでまいります。

長く続いた「コロナ禍」も、徐々に日常を取り戻しつつあります。今年度は、より多くの場面でまちと関わったり、人とふれ合ったりできるように、教育活動を工夫していけるであろうことに、今からわくわくしています。もちろん、子どもたちが健康的で安全・安心な学校生活を送るための対策は、これまでどおり、気を緩めることなく継続していきます。

制限が緩和されてきているところではありますが、すでにお伝えしていますとおり、今年度は、8月21日から3月31日の予定で、職員室の拡張工事が行われます。それに伴い、運動会が5月に変更になったり、9月以降、校庭の3分の1程度が使用できなくなったりと、ご不便をおかけすることになります。子どもたちにとっても、これまでと異なる部分が出てくることで、不安な思いをさせてしまうかもしれません。工事が安全第一に行われることはもちろんですが、職員一同、こうした子どもたちの思いに寄り添ってまいります。工事に関する詳細は、夏休み前にはお伝えできる予定ですので、ご家庭のご理解・ご協力をお願いいたします。

さて、本日、122名の新1年生を迎えることができました。保護者のみなさまに心からお祝いを申し上げます。新1年生の子どもたちにとって、学校は、新鮮でわくわくする場所です。これまでとは、接する人の数も、学ぶ空間も、大きく変わります。毎日が発見と感動の連続です。もちろん、新しい生活に、緊張や不安を感じている子どももいることでしょう。一日も早く学校生活に慣れ、駒岡小学校の児童として、充実した日々を送ることができるよう、全職員で支えてまいります。

また、令和5年度は、全校で744名の児童によるスタートです。次の50年、つまり100周年につなげていくために、昨年度、児童会で子どもたちが決めた令和5年度のテーマは「たね」。今年、蒔いた種が、50年後には駒小の大きな花を咲かせることを願って、決められたそうです。子どもたちはすでに新たな一歩を踏み出しています。職員も、744名の子どもたちが花開く未来を思い描きながら、ご家庭、地域のみなさまと共に子どもたちを育んでいけるよう、誠心誠意努力してまいります。

一年間、これまでと変わらぬご理解・ご協力を賜りますよう、お願いいたします。